

支部便り

中国四国支部 第12回支部講演大会の開催報告

Report on the 12th Annual Meeting of Chugoku and Shikoku Branch of the Japan Institute of Light Metals

岡野 聡・小林 千悟

Satoshi OKANO and Sengo KOBAYASHI

令和2年11月28日(土)に、中国四国支部第12回支部講演大会がオンラインにて開催されました。本大会は例年、7月下旬~8月上旬に中国四国地区の大学で開催されており、軽金属に携わる中国四国地区の支部会員が一堂に会し、各々の研究について活発な議論を行い交流の場を広げるための会です。2009年に第1回目が愛媛大学で開催されてから、今年で12回目を迎えました。

本講演大会は例年4~5月に開催の決定を行っていますが、本年度は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、4月の段階では感染が沈静化する見通しはまったく立っておらず、講演大会の開催はおろか、日常生活すらも困難な状況がありました。当時は、オンラインツールに全員がまだ不慣れであり、すぐにはオンライン大会に移行するという判断を下すのは非常に難しい段階でありました。そこで4月に開催された臨時の支部役員会におきまして、講演大会の実施は秋くらいまで様子を見るという判断を致しました。8月に入っても一向に新型コロナウイルスの感染は沈静化する様子がないことから、オンライン大会開催の検討を開始し、10月の支部役員会にて11月末にオンライン大会を開催する決定を下しました。

本大会への参加者数は49名で、講演件数は学生19件、社会人1件の計20件でした。プログラムや概要集はすべてpdf化し、メールにて参加者に配布しました。講演会場はオンライン会議システムZOOMのアカウントを2つ用意しました。大会開催の4日前には、実際のZOOM講演会場をテスト公開し、発表予定者にスライドや音声のチェック、座長の方には業務の流れなどを確認して頂きました。

迎えた大会当日、会場係として小林、岡野がそれぞれの会場に常駐し、不測の事態に備えました。事前に発表のテスト等を行っていたにもかかわらず、いざ講演大会が始まると、発表者の音声が聞こえない、発表スライドの共有ができないなどのトラブルが多々ありました。音声が聞こえない原因が発表者のマイクの問題なのか、あるいは聴講者のスピーカーの問題なのかわかりづらく、発表開始後1分ほどはなかなか会場係から発表を止めづらい状況にありました。発表セッションの開始前に、発表者のスライド図面共有と音声に問題がないかを確認することが、スムーズな大会運営には必須と感じました。また、ZOOM上での参加者の名称は、各々が自由に変更可能であることから、運営側が聴講者をすべて正確に把握することは困難であるため、事前参加登録をメールにて行った方へのみ、講演大会のZOOMにアクセスするURLを

通知しました。

オンライン大会は、現地に赴くことなく講演大会に参加できるメリットがあり、県をまたいで移動が制限されている状況下においても、研究の議論ができる新たな講演大会の形であると言えます。

本講演大会は、学会発表が初めてという学生さんの発表が多いことが特徴として挙げられます。今回も、初めての学会発表、かつオンライン大会ということでかなり難しかったとは思いますが、質疑に対して緊張しながらも一生懸命答えようとする発表者が多く見られ、大変よい経験をされたものと思います。

本講演大会では、優秀な研究発表に対する表彰制度が設けられており、学生・院生には“優秀講演賞”が授与されています。今年の優秀講演賞は6件で、「Ti-15Nb合金溶体化処理材の組織形成に及ぼす酸素添加効果/愛媛大学 小林舞衣」「Ti-25Nb合金の準安定 α' 相と ω 相に熱処理条件の変化が及ぼす影響/香川大学 伊井 杏」「Ti-1Mo合金の組織形成に及ぼす圧延温度ならびに酸素添加の影響/愛媛大学 安部博幸」「Co基合金の電子構造計算を用いた設計と形状記憶能をはじめとした特性評価/広島大学 中畑祐二」「熱間押しによるAl/Mg2Si複合材料の作製と評価/鳥取大学 石井智也」「LPSOからの圧力相転移で発生するD03/hcp二相組織の形成過程と機械特性の研究/愛媛大学 川端勇輝」でした。例年ですと講演大会終了後、懇親会におきまして優秀賞の発表および授与式を行うのですが、今回はオンライン大会ということで懇親会は未開催のため、優秀講演賞の発表はメールにて、表彰状の授与は郵送という形をとることとなりました。皆様の受賞をお祝いするとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で本講演大会の開催自体も危ぶまれましたが、参加者の皆様方、および支部役員の皆様方のご協力の下、無事に初のオンライン大会を終えることができました。この場を借りて御礼申し上げます。講演大会自体を中止にするという判断もあったかと思いますが、研究を進めることも難しい環境下におきまして、講演大会という発表する場が存在すること自体が研究者のモチベーションの一つとなれば大変意義のあることだと感じております。2021年度は軽金属学会創立70周年という記念すべき年であり、鳥取大学での中国四国支部第13回支部講演大会にて、皆様と対面でお会いできることを切に願っています。